

1. スマートリモコンでの試運転方法

※取扱説明書もご覧ください。

(試運転以外での長時間の運転はおやめください。建築中の現場などで長時間運転すると、ほこりやにおいが付着する場合があります。)

◆試運転の前に

- 室内・室外ユニット据付・配管・配線作業終了後、冷媒洩れ・電源・伝送線・リモコン線の緩み・極性間違いがないか今一度確認してください。
 - 電源端子盤と大地間をDC500Vメガーで計って1.0MΩ以上であることを確認します。1.0MΩ未満の場合は運転しないでください。
- ※MAリモコン用・室内外伝送線用端子盤の絶縁抵抗測定は絶対にしないでください。

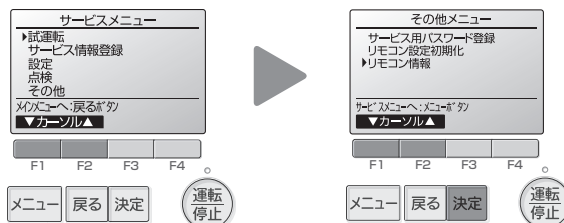
◆サービスメニュー

1. サービスメニュー画面にします。
2. メイン画面から、「メニュー」→「サービス」より各種サービスメニューでの設定、操作を行います。
3. サービスメニューを選択するとパスワード入力画面が表示されます。
4. 現在設定されているサービス用のパスワード(数字4桁)を入力します。
 ボタンで桁を選択し、 ボタンで0~9の数字を設定します。
5. 4桁のパスワードを入力後、 ボタンを押します。



お願い サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう必要に応じパスワードを変更してください。
パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。



◆試運転方法

【手順1】 12時間以上前に元電源を入れます。

リモコンの電源ランプ(ミドリ)と“Please Wait”が点滅表示されます。点滅表示中はリモコンからの操作ができません。“Please Wait”が消灯してから操作してください。電源投入後、“Please Wait”は約3分間表示されます。

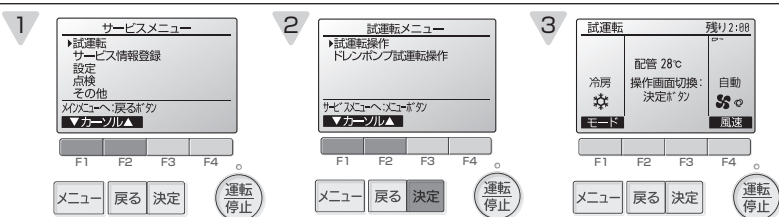
お願い

- 電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になります。
- シーズン中は電源を切らないでください。

【手順2】 リモコンを『試運転』に切換えます。

- 1 サービスメニュー画面で「試運転」を選択し ボタンを押します。
- 2 試運転メニューが表示されますので、「試運転操作」を選択し ボタンを押します。
- 3 試運転が開始され、試運転操作画面が表示されます。

※システム異常検知に最大約15分かかる場合があるため、全システム同時運転を15分以上実施してください。

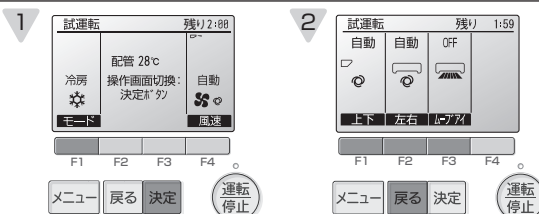


お願い

- フィルターを外したまま運転をしないでください。内部に油・ゴミが詰まり、故障の原因になります。

【手順3】 試運転操作を行い吹出し温度・オートベーンの確認をします。

- 1 ボタンを押して運転切換を行います。
冷房運転…冷風の吹出しを確認します。
暖房運転…温風の吹出しを確認します。
- 2 ボタンを押して風向操作画面にし、、、 ボタンでオートベーンの確認をします。
 ボタンで試運転操作画面に戻ります。



【手順4】 室外ユニットのファン運転を確認します。

室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。そのため外気の状態によってファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止、または逆回転となることがありますが、異常ではありません。

【手順5】 試運転の終了

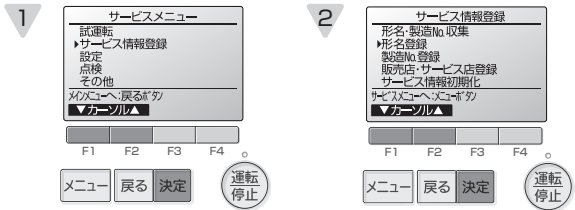
- 1 ボタンを押して試運転を終了させます。

◆サービス情報の登録

リモコンへの形名・製造番号登録、ならびに販売店名やサービス店名それぞれの連絡先を登録することで、異常発生時、異常画面に表示することができます。

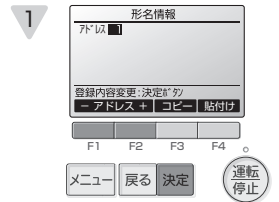
【手順1】リモコンを『サービス情報登録』に切替えます。

- 1 サービスメニュー画面で「サービス情報登録」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- 2 サービス情報登録画面から「形名登録」を選択し、**決定** ボタンを押します。



【手順2】登録するM-NETアドレス・室外ユニット・室内ユニットを選択します。

- 1 **F1**、**F2** ボタンで登録するM-NETアドレスを選択し、**決定** ボタンを押します。
・M-NETアドレス1~255



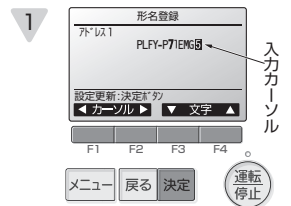
【手順3】形名を登録します。

- 1 形名を登録します。形名は最大18文字まで入力できます。
 - **F1**、**F2** ボタンで入力カーソルを左方向、右方向に移動させます。
 - **F3**、**F4** ボタンで入力カーソル部の文字を選択します。
 - 入力後 **決定** ボタンを押します。(【手順2】に移動します。)

【手順2】～【手順3】の操作を繰り返し、選択したM-NETアドレスのユニット形名を登録します。M-NETアドレスを変更する場合は【手順3】の画面で **戻る** ボタンを押すことで、【手順2】の画面に移動しますので、M-NETアドレスの変更を行い、同様の手順で形名登録を行ってください。

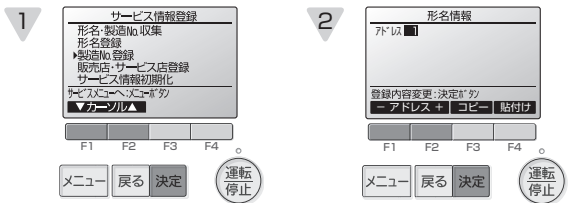
上手な使い方…登録した形名情報をM-NETアドレス単位でコピー、貼付けすることができます。

- 【手順2】にて **F3** ボタンを押すことで、選択しているM-NETアドレスの形名情報をコピーします。
- 【手順2】にて **F4** ボタンを押すことで、コピーした形名情報を選択しているM-NETアドレスに上書きします。



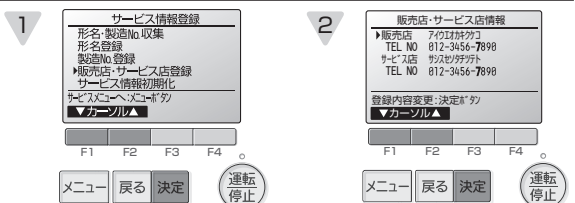
【手順4】製造番号を登録します。

- 1 【手順1】-2で「製造 No 登録」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- 2 【手順2】～【手順3】の要領で製造番号を登録します。
製造番号は最大で8文字まで入力できます。



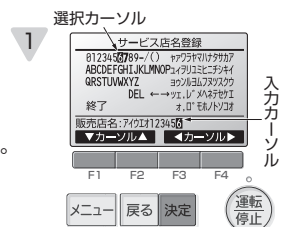
【手順5】販売店・サービス店を選択します。

- 1 サービス情報登録画面から「販売店・サービス店登録」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- 2 **F1**、**F2** ボタンで登録する項目(「販売店」「販売店 TEL NO」「サービス店」「サービス店 TEL NO」)を選択し、**決定** ボタンを押します。



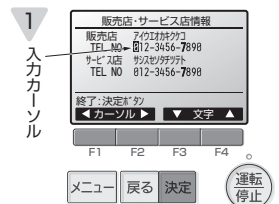
【手順6】販売店名・サービス店名を登録します。

- 1 販売店名、サービス店名を登録します。形名は最大で10文字まで入力できます。
 - **F1**～**F4** ボタンで選択カーソルを移動させ入力文字を選択します。
 - **決定** ボタンで選択カーソルが示す文字を入力カーソル部に入力します。
 - 入力カーソルを移動させたい時は、選択カーソルで「←」「→」を選択し、**決定** ボタンを押すことで移動します。
 - 入力文字を消したいときは、選択カーソルで「DEL」を選択し、**決定** ボタンを押すことで入力カーソル部の文字を消去します。
 - 入力が終わりましたら選択カーソルで「終了」を選択し、**決定** ボタンを押すことで、入力内容を記憶し【手順5】-2に戻ります。



【手順7】販売店 TEL NO・サービス店 TEL NO を選択、登録します。

- 1 【手順5】-2で「販売店 TEL NO」、もしくは「サービス店 TEL NO」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- 2 販売店 TEL NO、サービス店 TEL NO を登録します。TEL NO は最大13文字まで入力できます。
 - **F1**、**F2** ボタンで入力カーソルを左方向、右方向に移動させます。
 - **F3**、**F4** ボタンで入力カーソル部の文字を選択します。
 - 入力が終わりましたら **決定** ボタンを押します。(【手順7】-1へ移動します。)



2. スムースリモコンでの試運転方法

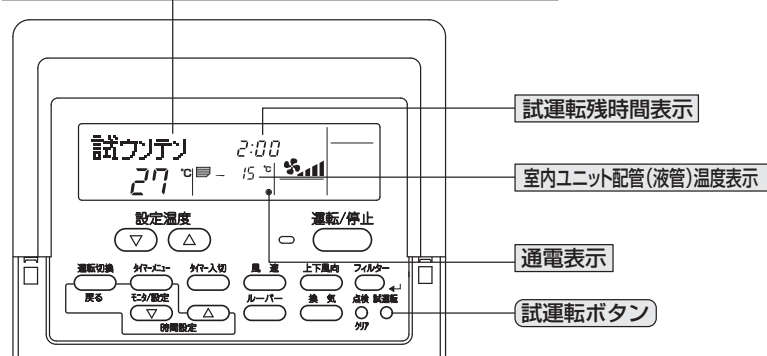
※取扱説明書もご覧ください。

(試運転以外での長時間の運転はおやめください。建築中の現場などで長時間運転すると、ほこりやにおいが付着する場合があります。)

◆試運転の前に

- 室内・室外ユニット据付・配管・配線作業終了後、冷媒洩れ・電源・伝送線・リモコン線の緩み・極性間違いがないか今一度確認してください。
 - 電源端子盤と大地間をDC500Vメガーで計って1.0MΩ以上であることを確認します。1.0MΩ未満の場合は運転しないでください。
- ※MAリモコン用・室内外伝送線用端子盤の絶縁抵抗測定は絶対にしないでください。

試運転表示“試ウンテン”と“運転モード”を交互に表示します



◆試運転方法

【手順1】 12時間以上前に元電源を入れます。

電源投入後、リモコンに“PLEASE WAIT”が約3分間表示されます。

お願い

- 電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になります。
- シーズン中は電源を切らないでください。

【手順2】 リモコンを『試運転』に切り換えます。

【試運転】 ボタンを2度押します。

※“試ウンテン”と設定されている運転モードが交互に表示されます。

※システム異常検知に最大約15分かかる場合があるため、全システム同時運転を15分以上実施してください。

お願い

- フィルターを外したまま運転をしないでください。内部に油・ゴミが詰まり、故障の原因になります。

【手順3】 試運転操作を行い吹出し温度、風速、オートベーンの確認をします。

1 **【運転切替】** ボタンを押して冷房(または暖房)運転に切り換え、冷風(または温風)が吹き出すことを確認してください。

2 **【風速】** ボタンを押して、風速が切り換わることを確認してください。

3 **【上下風向】** または **【ルーバー】** ボタンを押して、水平吹き、下吹き等、風向調節が可能か確認してください。

※上下風向・ルーバーボタンを押した時、操作した機能が室内ユニットに無い場合は“無効ボタン”の表示がリモコンに表示されますが故障ではありません。

【手順4】 室外ユニットのファン運転を確認します。

室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御しています。そのため外気の状態によってファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止、または逆回転となることがありますが、異常ではありません。

【手順5】 試運転の終了

【運転/停止】 ボタンを押して試運転を終了させます。

【手順6】 電話番号の登録

リモコンへ異常時の連絡先設定で電話番号登録を行ってください。MAスムーズリモコンでは、異常時の連絡先(工事店または販売店)の電話番号をリモコンへ登録することができ、エラー発生時に表示されます。

登録操作の方法は、リモコンに付属の据付工事説明書または室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

3. 点検コードが表示された場合

リモコンに点検コードが表示された場合は、下表をご覧ください。下表以外の点検コードが表示された場合は室外ユニット側（サービスパネル）または、サービスハンドブック等をご覧ください。

点検コード	点 検 内 容	点検コード	点 検 内 容	点検コード	点 検 内 容
0403	パネル通信異常	5101	吸込温度センサー(TH21) (または、吐出温度センサー(TH1))異常	6607	ACK無し
2500	漏水異常			6608	応答無し
2502	ドレンポンプ異常	5102	液管温度センサー(TH22) (または、吸入圧力飽和温度センサー(TH2))異常	6831	MAリモコン通信受信異常
3604	フィルター位置検知異常			6834	
3606		5103	ガス管温度センサー(TH23) (または、液面検知温度センサー(TH3))異常	6832	MAリモコン通信送信異常
3605	ダストBOX外れ検出異常	5701	フロートスイッチコネクタ外れ	7100	
3607		6600	アドレス二重定義エラー	7101	能力コードエラー
4114	室内ファンモータ異常	6602	伝送プロセスH/Wエラー	7102	接続ユニット台数オーバー
4127	オゾン出力回路異常	6603	伝送路Busyエラー	7105	アドレス設定エラー
4128	バルスクリーン異常	6606	伝送プロセスとの通信異常	7111	リモコンセンサー異常